

武石地域協議会会議録

日時 平成 18年 10月 27日（金）午後 19時から午後 21時

場所 武石地域自治センター2階会議室

出席委員 新井繁雄委員、井出守雄委員、伊藤静子委員、内田安博委員、柿蔭祐子委員、北沢直美委員、清住章雄委員、清住隆幸委員、小山洋江委員、桜井敏昭委員、桜井美枝委員、高田忍委員、滝沢潔委員、滝沢幸彦委員、竹内新蔵委員、橋詰真由美委員、松井幸夫委員、松代典之委員、依田せつ子委員

欠席委員 伊藤隆子委員

市側出席者 宮下武石地域自治センター長、広川武石地域自治センター次長、原沢自治振興課長、掛川庶務課長、山口市民生活課長、伊藤健康福祉課長、近藤産業振興課長、桜井建設環境課長、児玉地域振興課課長補佐、掛川地域振興課主事

1 開会

（広川武石地域自治センター次長）

ただ今から第2回武石地域協議会を開催させていただきます。

2 会長あいさつ

（桜井会長）

各委員の出席に感謝いたします。

上田市の各ブロックで地域協議会が立ち上がりました。これから各地域で活動が始まっていくわけですが、武石地域協議会はここなりの特色を出していただくのが課題だと思います。今日は計画に対する説明会ということですから十分お聞きいただいて、いろいろな計画に対して審議いただければと思います。

3 センター長あいさつ

（宮下センター長）

会長のあいさつのとおり、武石を皮切りに、市内の全9ブロックすべてで地域協議会が立ち上がりました。2回目も武石がはじめてになっています。今の時期は上田市にとって重要な時期となっています。現在、市の全体計画を4年ごとに8年の計画で作っていますが、さらにそれを具体的にする3年間の実施計画があります。本来基本計画があって実施計画があるわけですが、今年は実施計画のみを作る必要があります。その査定が11月までの予定で始まっています。村のときと比べ計画の搭載枠が5000万円以上なので、武石は実施計画に乗らない事業が出てくるわけですが、それは予算要求の中で見て行くので実施しないということではなく、重要な事項は市長査定に乗せていくことで進めています。ま

た、これから予算要求の時期となります。18年度は旧町村を引き継いでの持ち寄った予算でしたが、19年は上田市としての初めての予算で、市としての考え方が反映される予算となります。市長からは、ダイナミックに考え旧制度を見直す良い時期だから変えるよう指示がありました。しかし、会長の話のとおり、地域課題はそれはそれとして大切に残していかなければいけないと思います。具体的にはこれからですが職員も一生懸命取り組む必要があります。本日は、地域協議会の第1歩となる計画をまず提案申し上げて協議いただければと思います。大変お疲れのところ ご苦労さまですがよろしく申し上げます。

4 自治センター課長自己紹介

(広川センター次長)

初回に自己紹介をした職員を除き、自治センターの課長に自己紹介をお願いします。

各課長が自己紹介を行う。11月1日発令の児玉教育事務所長についてセンター長より紹介がある。

5 協議事項

(広川センター次長)

それでは協議事項に入らせていただきますが、協議事項の進行は会長をお願いします。

(桜井会長)

それでは、説明をお願いします。説明の後、質疑応答がありますのでお願いします。(1)新市建設計画の概要について事務局より説明をお願いします。

(原沢自治振興課長)

新生「上田市」建設計画(市町村建設計画)概要及び新生上田市建設計画の資料に基づき説明をする。

以上であります。総合計画についてはこの建設計画をベースに市長のマニフェストを加えて策定をしてゆくこととなります。今後の地域協議会への諮問ですが、建設計画にある地域別整備方針、こういった部分を諮問することとなります。時期は年内いっぱいには諮問する予定です。

(会長)

説明は方針、方向といったものですが、質問があればお願いします。

(委員)

今後の地域協議会としての日程はどのようなものがありますか。

(原沢自治振興課長)

12月中には、市から地域別整備計画の構想部分が諮問になる予定です。その後、年明けには計画的な部分が諮問となります、当面はそういったこととなります。その後、市から意見を聴く案件が出た場合は随時諮問をお願いすることとなります。

(委員)

私からも質問させていただきます。合併協議会を進めている中で、一番課題だったのは分権型というものを進めることでした。これは長野市にも松本市にも無いもので、4町村が対等合併をするということだけではありません。分権型というのは、審議することではなく権限の事です。それぞれの地域協議会の中で権限がどの程度あるかということです。実際の運営になるといちいち上田市と協議していかないと決まらないということでは、特例法でなく自治法で設置の条例を作ってきたという経過は生かされていません。特に母袋市長さんが主張されてきた、センター長のところで、たとえば3千万の予算がある場合、事業は所長の権限でどんどん決定し、実行してゆくんだ、というものが私たちに覚えてこない。分権型がだんだん隅のほうへ行ってしまっていて、町村長や市長さんが主張されてきたことが具体的にどうなのか見えなくなってきたような気がします。どの程度までセンター長や課長や長が自分たちの権限でやっているのか、やっていけるのかわかっている範囲で説明してください。

(原沢自治振興課長)

確かに分権型合併の具体化ということは今後の大きな課題のひとつであります。例えば、地域予算というものがありますが、現時点では地域予算的なものは無く、予算といえば、各センターで持っている権限で予算要求をするわけですが、それが一旦本庁の方で集約して全市を見るといったことになるので、武石地域で自由に使える地域予算的な部分が無いわけです。分権型合併ということで分権型自治を進めるうえでそういった権限あるいは予算的なものを今後どのように持たせていくかということが大きな課題でありまして、みなさんと以後、相談しながらということになります。岐阜県の高山市では、センターごとに予算を配分する方式を始めたようですが、全国的にもまだ特別な例ですから、そういったものを参考にしながらこれから検討したいと考えています。

(委員)

建設計画に出てくる自立とか協働とかを生かすには、ただ単なる総合支所ではなく、権限が表に出てこない、ただ単なる総合支所なら分権にはならないと思います。分権は権限なので、権限を移譲するものなので、これが具体的にしなければ長野市や松本市と違った形で合併した意味が無いと思います。その辺が見えてこないのが不満です。協議するというお話ですが、合併の条件なのだから、このときに、こういう形で権限を与えていきますよ、そうしましょう、ということなので、何年かかかって協議する問題ではないと私はそういう気がしています。

(原沢自治振興課長)

現状は、旧町村の地域自治センターには部長級の職員を配置して、部長級の権限が本庁並みにあるという状況です。

(委員)

今、市の自治会連合会に区長として参加し、いろいろ検討していますが、現実としては

市があってセンターがあると感じます。市の意向を聞かなければ進んでいけないという形だが、センター長はどう思うかお尋ねします。

(宮下センター長)

今回、地域予算に近い形は若干あります。土地改良事業や土木事業については数千万単位で、地域自治センターで一定程度の判断が出来る予算配分があります。それについては区長さん方の要望をお聞きする中で取り入れております。その事とただ今の論議ではレベル的な差があると思っています。どこまでというのは難しいですが、合併の要件はこの町村も財政が厳しかったことがあります。新市になって財政的に豊かになったかということではないというのがひとつあります。一定の枠で4つのセンターに予算を振り分けるということは、今のところ少し乱暴ではないかと思えます。もう少し余裕を見たところで進めることは時間のうえでも必要なことではないかと思うからです。今、分権を進めることは、地域協議会を設けることがひとつありましたが、結局、この地域でこれは必要だということを協議会でお出しただいて、それを実現していくことの積み重ねが大切ではないかと思えます。協議会の中で地域をどうするのかを詰めていただき、方向性を出していただくことが必要かと思っています。

(会長)

ほかにご意見があったらお出してください。

(委員)

真意のほどは確認していませんが、各地域で予算的に格差があると聞いていますが本当ですか。もうひとつ質問ですが、旧上田のJT跡地について合併協議会の中で協議されていたかということをお聞きしたいと思います。

(原沢自治振興課長)

JTの関係につきましては、合併協議の中では協議されておられません。

(委員)

武石地域もJT跡地の開発によって車の流れなども変わってくるので、関係があると思うので聞きました。

(宮下センター長)

JT跡地をどうして行くかについては合併前から市の課題であったと聞いています。旧市の立場としては、民間の土地であるので民間の企業がどう活用するかは民間が主に考えるべきであるというのが基本的な考え方です。ただ19町歩もある土地なので、その一部を公共事業の予定地として使わせていただき、何を作っていくかはこれから考えていく、こういうことになると思います。それから地域的な予算配分の格差については、必要な事業は地域のほうから声を出していくべきであって、一律にお金をつけていくことではないと考えます。地域ごとに何が必要かを考え、必要に応じて予算を獲得していくということで、分配するというものではありません。

(会長)

ほかにありませんか。

(委員)

広報が月2回発行されているわけですが、村で出していた武石広報の時には武石の話題だけだったので皆さん楽しみにしていました。上田広報になったら、見るところが無い、武石のことは端のほうに少しあるだけでつまらないという人が大勢います。地域を良くするための地域づくりは、住民が地域を思う気持ちが溜まってこないと出来ないと思います。地域のことを住民の皆さんに周知できる方法を考える必要があると思います。広報も、武石地域版を作ることが必要です。広報を出すことで地域を思う気持ちが醸成されていくだろうと思います。

(委員)

私も広報の発行に同感です。武石地域の中で何が起きているのか住民が知らないと、それから先何をやるべきかを住民が分かっていないことになります。今は地域で行っている実績が地域住民に見えていない、他はどうあれ少なくとも隔月でよいので19年度予算にはぜひとも広報武石版を載せて実施していただきたいと思うのでよろしくお願いします。

(宮下センター長)

私も同じように思っています。当初、地域版を作ることが決まっていたのですが、合併のスタートの時期なので手が回らないということで4地域とも実施していません。やはり、広報は大変重要なことだと私自身も思っているところです。また何らかの形でそうしたことを検討させていただきたいと思います。私も思いは同じです。

(会長)

ほかにありませんか。

(委員)

建設計画22頁に学校給食センターの改修と整備が載っていますが、武石地域の自校給食がいずれは給食センターに変わってゆくのでしょうか。

(広川センター次長)

22頁の記載は丸子地域のことをさすと思われます。合併協議の中では、自校給食をやっているところは今後も自校給食で行くということになっています。自校給食がなくなることはありません。

(会長)

合併協議の折に真田と武石の自校給食は、合併の絶対条件として決めたはずなので、大丈夫です。ただ、この問題はいつも確認している必要はあると思います。

(委員)

保育園は自校給食ですが、合併後統一メニューとなりました。いい面もありますが、今まで武石が独自に作ってきたメニューがなくなってしまったのが残念です。

(委員)

私の孫も保育園に通っていますが、今まで月1回行っていたお楽しみクッキングが危険

や衛生の理由で無くなったと聞いています。

(委員)

メニューの統一は上田市の方からしなさいときたのか、武石のほうから自主的に合わせたのか、どちらでしょうか。

(委員)

仕事の関係で、給食のことを知っているが、上田市のほうから言われたと思います。

(宮下センター長)

合併後、保育園は組織的に本庁の福祉課に所属するようになり地域自治センターの所轄外になりました。ご質問の回答は、この場に担当がいないので調査の上次回報告いたします。ただ、保育園は地域の重要なことなので、今後もこのような場で協議いただきたいと思います。

(委員)

小学校の給食のことで意見を出したが、会議後本人の申し出により削除

(委員)

自治会連合会やこの会議の議論を総合的に見てみると、合併のときはこういう風にやっ
ていくんだと決めてあっても、結局旧上田に習ってしまう。人口 13万人の大きなところと
4千人では、分権、対等といっても現実的に組織で動いてくればやむをえないかな、と最近
感じているところです。

(会長)

だからこの会が必要になってくると思います。皆さんの意見をここにいる行政の皆さん
を中心に本庁に提言していただきたいと思います。地域性やローカル色を堅持していける
ということは、地域の皆さんの意思であると思うので主張すべきときは主張していくべき
と思います。

(委員)

協議会として自主的な発言をして、意見を上へ届くようにしていかないと、ここだけの
論議で終わってしまったのでは価値が無いと思います。

(会長)

ここで出た意見は、本庁に上げていただき、その後の経過をご報告いただきたい。

(広川センター次長)

地域協議会の議事録はホームページに公開します。出された意見は、様式に基づいて市
長までの決済を受け、回答をすることに決まっています。しかし、この会が要望事項だけ
をあげる圧力団体のような会になってしまったのでは本来の目的からそれてしまうと思
います。

(宮下センター長)

先ほどからフリートーカー的になっていますが、実際には今日が地域協議会の初めての
の会議です。そうした中で合併に対する思いの違いが、8カ月経過した中で見えてきた時期
でありますので、今日出された、1番目の分権というものの中身がよくわからない。2番目

の広報が必要ではないか、ということと、3番目の保育園のメニューの問題、こうしたご意見について確認させていただき、次回報告を申し上げることにさせていただきたい。

(会長)

大きな問題としては、今センター長さんの話にあった 3つだと思いますが、そういう形でよろしいですか。

(委員)

大変結構だと思います。特に最初の、せっかく分権型 合併になったのにどこが分権かわからない、そのところをもう少しつめていただきたい。センター長にもうちょっと権限を持たせていくことが大事で、それが行政の効率化にもつながります。いちいち判子ばかりついて、ひとつの結論を出すのに2カ月も3カ月もかかるようでは合併のメリットで無くデメリットになってしまいます。行政の効率化という面からも分権を実現してほしいと願います。市長さんの話には出てくるが、具体的な内容になると違ってしまふ、それでは価値が無い。分権の願いを武石の総意として他の自治センターにも働きかけてやっていただきたい。そんな風にまとめていただきたいと思います。

(会長)

大変結構にまとめていただきました。

(委員)

地域協議会の役割について説明を受けましたが、諮問などは出されたことに対して意見を言えばいいと思いますが、市に対して意見を言うという役割が一番重要だと思います。出来れば、この協議会の委員を3部会か数部会に分けて議会の委員会のような部門ごとに部会を作って、担当のほうから、現時点では武石の自治センターでどんな問題点があってこういう課題があるのだと、そういうものを提起してもらって、そこで協議して委員の意見も加えて、それを全体会でまとめてから上に上げていくというような手続きをつくれればいいじゃないかと個人的には思います。

(委員)

自分の考えをこの場ですぐ出すのは難しいので、事務局から事前にテーマを委員に提示していただいて、委員は会議のときまでにまとめて話し合いをする、ということも必要だと思います。

(会長)

部会を作るという考えが出ましたが、事務局の見解を聞かせていただきたい。それから、問題を委員の中から提案し、それを宿題として次の会にまとめて話し合いをするということもできるのか行政のほうで協議していただきたい。

(広川センター次長)

部会を作るというお話は、要綱を作れば地域自治センターごとに違ってもそれは出来るということです。皆様のご意見が強いようでしたら、事務局で案を作って提示することは出来ます。

(原沢自治振興課長)

1回目のときに、武石地域協議会の要綱を提示し、お認めいただいていますので、その要綱に部会の設置を加えていただければ可能になります。

(会長)

大きな問題です。ここで決めますか、それとも新たにお考えいただいて決めたらよろしいでしょうか。

(委員)

今話題になっていること自体でも協議会委員がどう進めていったらいいかわからないこともあるので、初めから部会を作るのではなく、しばらくフリートークなどを続けながら委員の皆さんにしっかりと理解していただいた上で決めていかないと難しいと思います。

(委員)

時間をかけて、事務局でも検討し、我々のほうでも検討して協議の中で決めていったらいいと思います。

(会長)

それぞれ貴重な意見をいただきました。実際協議会がどれだけの権限を持ち、どういう役割を果たすのか私自身分かっていないところもありますので、改めてこの問題については協議していただくということによろしいですか。

(宮下センター長)

部会のパターンのものを次回にお示するというようお願いしたいと思います。

(広川センター次長)

だいぶ時間が経過しましたが、この後実施計画について、各課長からお話したいと計画しています。この実施計画は、合併前の今年2月に旧4町村の考えを持ち寄ったものをまとめたものです。ですから、これがすぐ武石の事業として実施するものではないことをご理解いただきたいと思います。現在、来年度に向けて、市長査定が始まっています、それが終われば、来年度に向けてもう少し具体的なものをお知らせできると思いますが、今日説明したほうがよろしいでしょうか。

(会長)ここで、この実施計画について意見が出て来年度には影響しないということですが、皆さんどうでしょうか。

(委員多数)

今日この場で説明してほしい。

(会長)

それでは実施計画の説明をお願いします。時間がありませんので簡潔をお願いします。

(各課長)

平成17年度策定 新生「上田市」実施計画一覧の資料に基づいて説明する。

(会長)

この件について何か質問しておくことはありますか。

(委員)

ただいまの説明のほかに、国、県の事業、例えば県道改修とか、交差点の改良など国や県に対しての要望事業について、武石地域として予算を別に上げていただきたい と思います。

(掛川課長)

国道、県道の事業につきましては、合併前は毎年秋に要望をあげていました。合併後も本庁にデータを送って、県に要望を送るということで対応しています。

(会長)

それでは時間も超過しましたので、ここで副会長のあいさつをいただいて閉めたいと思います。

(副会長)

お疲れのところ長時間にわたり協議いただきありがとうございました。上田市が日本の真ん中にいながら武石が端に追いやられないように協議会でしっかり審議いただき、皆さんの意見を反映させていただきたいと存じます。

余談ですが、本日上田市の会出張に行きまして、交通費のことで事務局に改善を提案したところ上田市の前例をあげて聞き入れてもらえませんでした。そこで、合併は吸収でなく対等なので再考いただくよう申し入れをしまいいりました。このように声を出して何回も何回も訴えなければ改善されない面がいっぱいあります。この協議会 においてみなさんでしっかり意見を出し合って推進していかなければいけないと思います。どうか皆さん いい知恵を出し合ってくださいと思います。今日は本当にご苦労様でした。